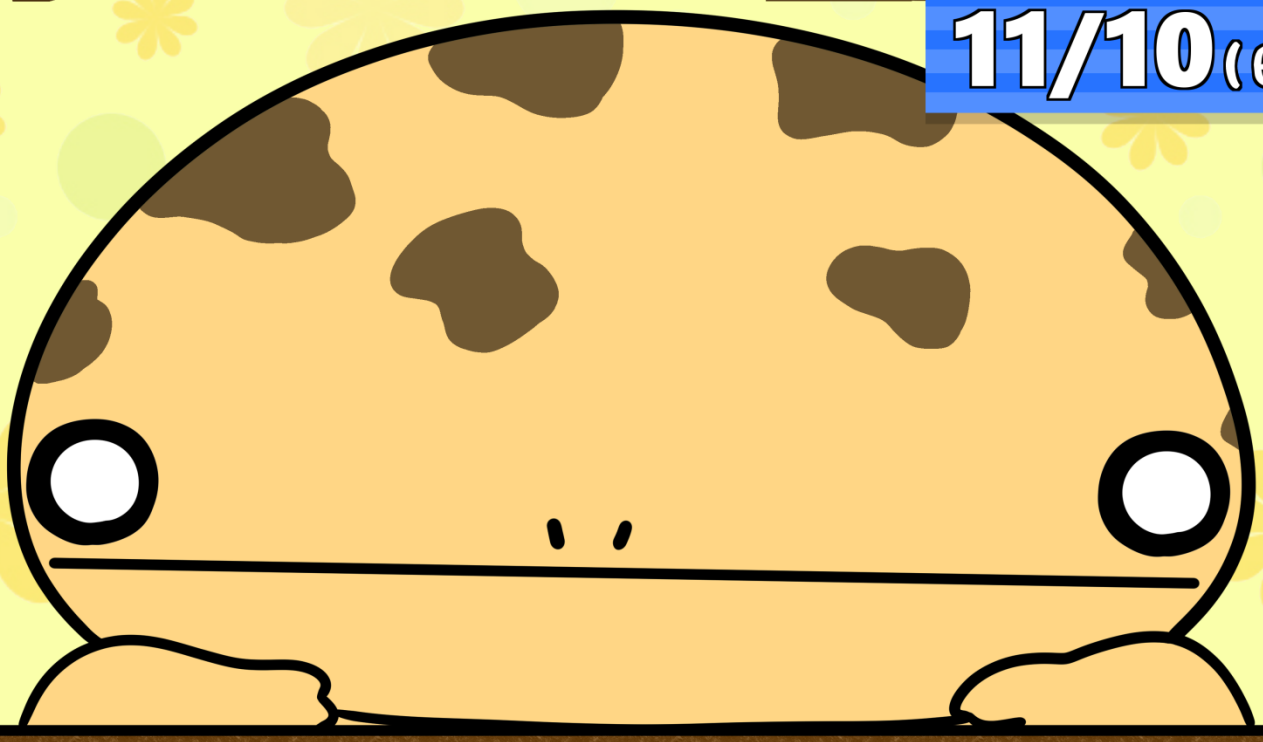
オオサンショウウオ保全Jrクラブ

キックオフ講演会

11/10(日)



講演会14:00～

「オオサンショウウオの今と未来」

講師：広島大学総合博物館
准教授 清水則雄

「保全Jrクラブの概要と目指す姿」

講師：東広島市豊栄地域コーディネーター
山﨑大海

プレ事業説明会

※講演会が終わり次第開始

12月から試験的に少人数ではじめる、保全Jrクラブプレ事業の説明会を行います。プレ事業への参加を希望される方は、講演会と併せてご出席ください。

お申し込み

定員：先着190名
右の申込フォームから
10/1(火)0時受付開始

場所 広島大学教育学部K102講義室（東広島市鏡山1-1-1総合博物館正面）

問い合わせ：東広島市豊栄支所　h-yamasaki40030@city.higashihiroshima.lg.jp

オオサンショウウオ保全Jrクラブって？

特別天然記念物オオサンショウウオの保全を小中高校生が自ら行うチームを結成します。学習・調査・普及活動を総合的に実施し、オオサンショウウオや生態系の保全と、自ら考え行動する力を持ち社会に貢献できる人材の育成を目指します。

学習

最先端の研究･最前線の保全活動をゲーム等にした、広大博物館監修の教材を活用して学習します。子どもたちの興味関心を維持しながら、大学･大学院で学ぶような深い内容を幅広く学びます。

調査

大学で行われる調査を体験。トレーニング後は、実際に生息状況調査も行います。水質や川の生き物、地形や河川構造物等を現場で総合的に学び、観察会の企画運営も行います。

普及

デザインやプレゼンについて学び、地域や全国集会での発表、グッズや看板の作成など、保全のために「何ができるか」を子どもたち自らが考え行動する、普及活動を行います。

活動イメージ	平日放課後（週1回）	休日（月1回程度）	年数回
	・保全学習（座学） ・普及啓発事業の計画	河川（豊栄）での調査	活動発表会 観察会の企画運営

【活動の背景と社会的意義】

オオサンショウウオは国の特別天然記念物であるにもかかわらず、多くの地域で消滅の危機にあります。生息地のほとんどは人口減少地域であり、保全団体のメンバーの減少で継続的な活動が難しくなっていることも消滅の大きな要因の一つとなっています。100年を生きるともいわれる本種の保全には、保全チーム自体も若い世代が継続的に参加し続ける仕組みが必要です。国宝と同じ位置づけにある特別天然記念物を我々の世代で失わせない、子どもたちの世代に残すために、いま動き始めることが必要です。

保全には、生態系全体を守ることが必要。
生物全般・環境等を総合的に学びます

【子どもの成長へ寄与】

この活動の特徴は「実在する社会問題に自ら取り組む」ことにあります。社会で必要とされる「行動力」「課題発見能力」「問題解決能力」を養う機会はあまり多くありません。社会課題に幼少期から関わり、現場で課題を発見し、解決へのアプローチを考え、必要な能力を身につけ、実現する。そこで得られる達成感は、自ら進んで次のステップに進む原動力になると考えています。

また、この活動で使用するゲーム等の教材は「楽しみながら大学で扱う内容を学べる」をコンセプトに制作したオリジナルのものです。学ぶことの真の楽しさは、たくさんの知識を身につけた先にあるものですが、多くの場合その過程の「テストで点を取るための勉強の辛さ」が勝ってしまい、真の楽しさに辿り着けないもったいない状況にあります。このクラブでは、まず「学ぶことの本質的な楽しさ」を体験してもらい「自ら学ぼうとする意欲」の促進にも寄与していきたいと考えています。

【プレ事業について】

この事業は令和７年４月からの本格始動を目指していますが、それに先立って今年12月頃から小規模（少人数）で試験的に活動を開始します（活動内容は上のとおり）。本講演会はその説明会を兼ねており、十分にご理解いただいてからプレ事業に参加いただくため、**本講演会の受講者を対象にプレ事業の参加申し込みを受け付け**ることとしておりますので、希望される方は是非本講演会にご参加ください。

スケジュール	11月10日	12月頃～3月	R7年4月～
	キックオフ講演会	プレ事業 （25名×2チームを想定）	事業本格始動 （需要に応じてチーム数を決定）

【オオサンショウウオ保全Jrクラブ キックオフ講演会申込フォーム】

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdjB9083Xzwg10813teATYejSsoG8K4zw2iyV-bO2JSFV2Pog/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0